

塾生の皆様へ

本を読むスピードは、「1分1ページ」が基本
－小学生は10分で10ページ、中学生は20分で20ページ、
高校生は30分で30ページ、大学生は40分で40ページを目指そう－

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) 公立中高一貫校入試、私立中学校入試、高校入試、大学入試、大学院入試など、これから塾生の皆様が受験する入学試験のすべての教科は、
(2) 問題の本文と設問、選択肢などの文字数は、合計すればかなり多く、
(3) 十分に考え、また、余裕をもって解答するには、普通の本であるならば、1分間に1ページの内容を正確に読み込む力を身に着けることが求められます。

2. (1) そこで、皆様にご提案したいのは、「1分間に1ページ」を基本として、「読む力」を身に着けることです。
(2) さらに、今通っている学校に応じて、
 - ①「小学生は、10分で10ページ」
 - ②「中学生は、20分で20ページ」
 - ③「高校生は、30分で30ページ」
 - ④「大学生は、40分で40ページ」
 - ⑤「大学院生は、50分で50ページ」
 - ⑥「社会人は、60分で60ページ」「読む力」を身に着けることです。
(3) そのためには、普段から、
 - ①「読む習慣」、「読書の習慣」
 - ②「新聞を読む習慣」
 - ③「辞書を用いる習慣」を身に着けるように、心掛けることです。

3. (1) ここにお示した、「本を読むスピード」として、「1分間に1ページ」を一つの目安にして、「読解力」の育成にお取り組みください。
(2) 何歳になっても、「1分間1ページ」を目標に読書に励みましょう。
(3) 現代は、知識基盤社会、グローバル社会です。社会に出てからの読書や勉強が大切です。集中できる時間を少しずつ増やし、社会人になるまでに、「60分間集中して本が読める能力」を身に着けることを目指しましょう。

2017年8月18日(金) 10時57分